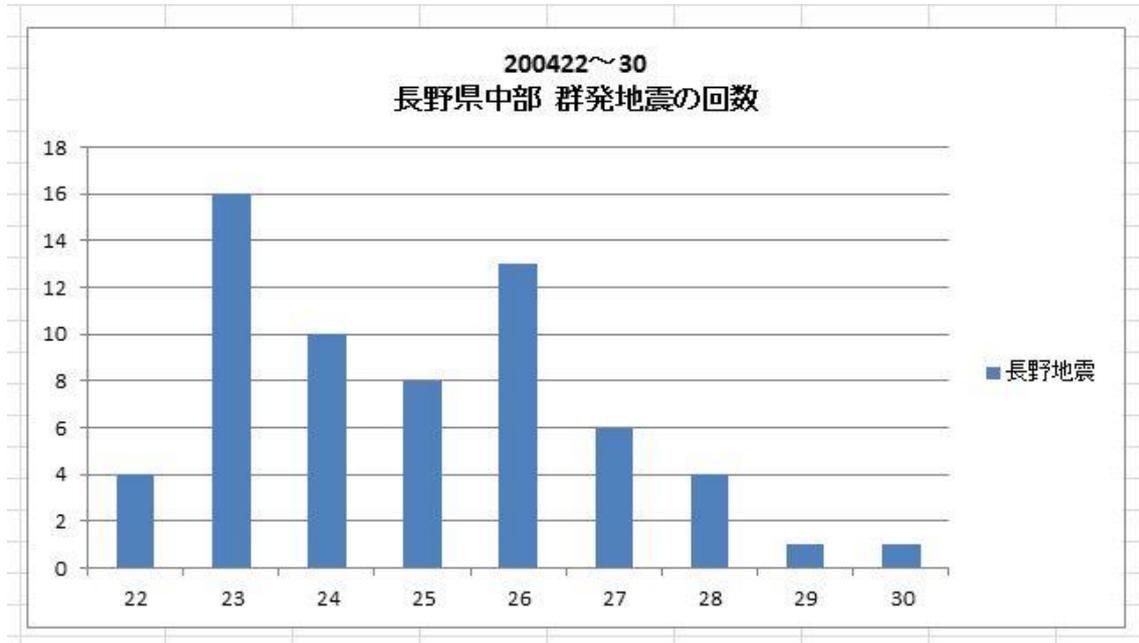
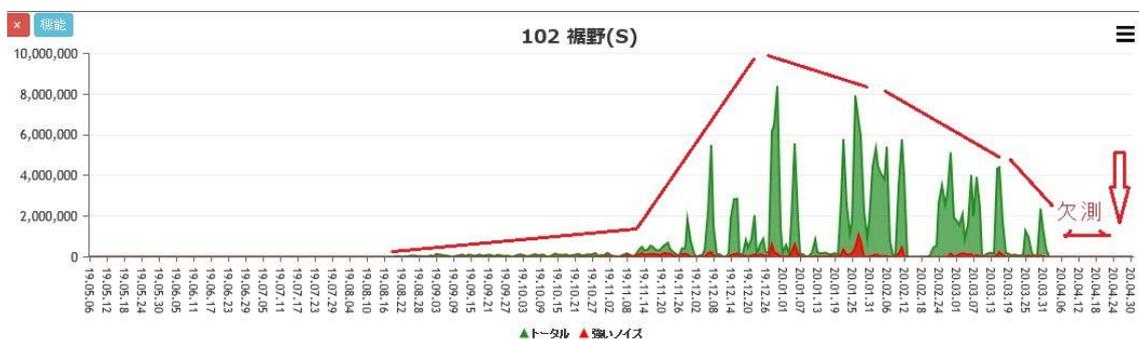


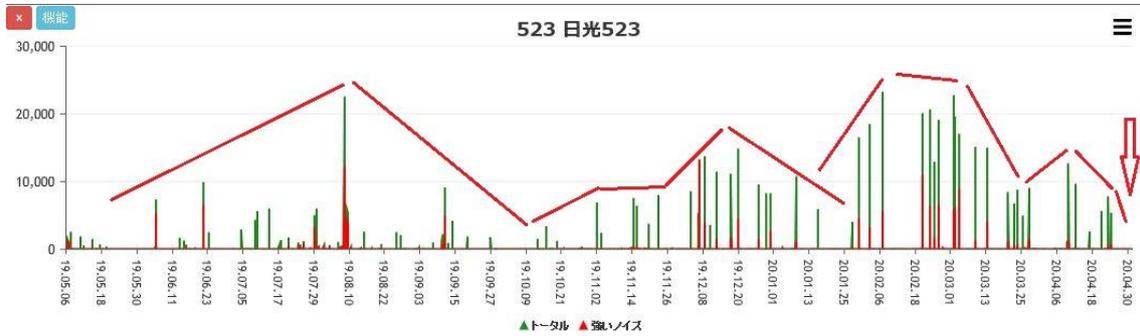
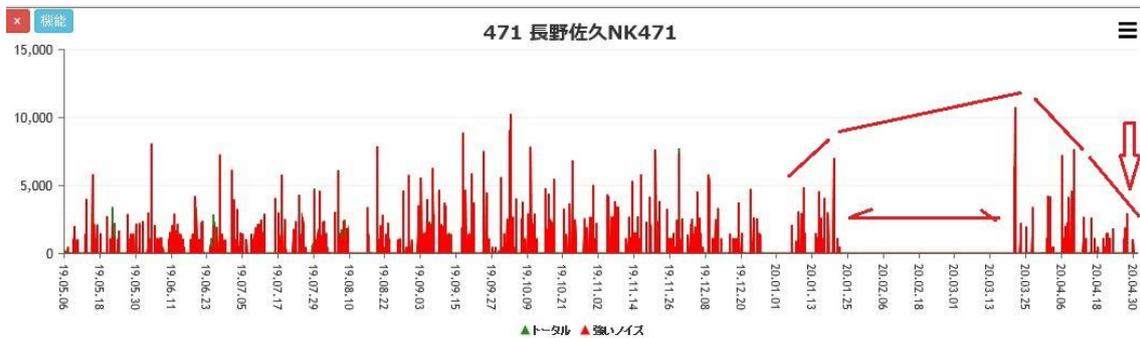
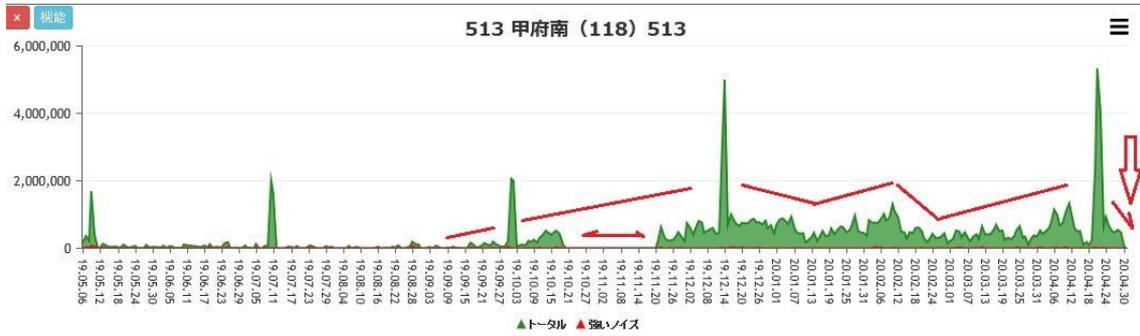
200430 長野県中部群発のあとについて

4月22日以来、長野県中部を震源に群発地震が続き、4月30日現在、群発は収まりつつある。(以下震度1以上の回数)

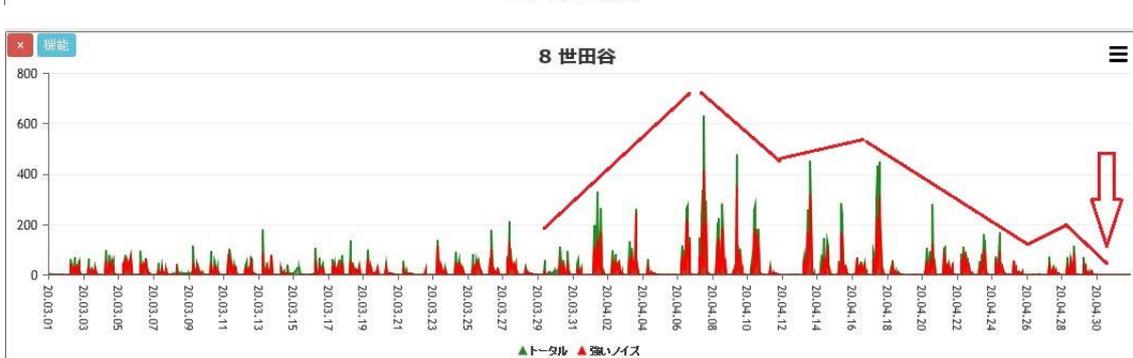
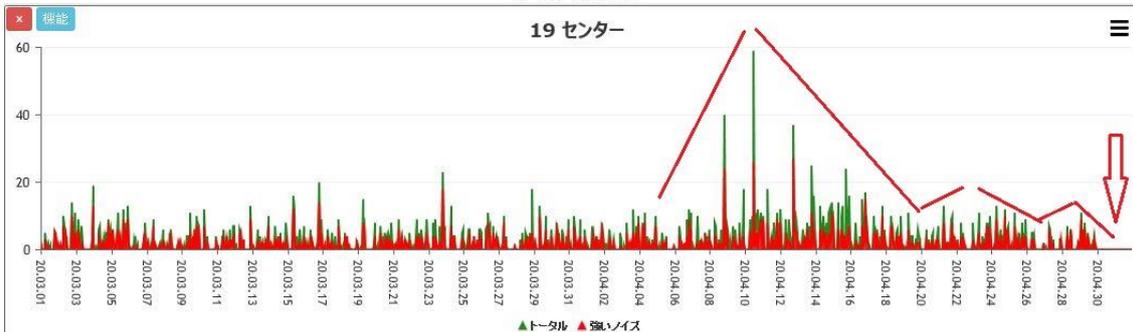
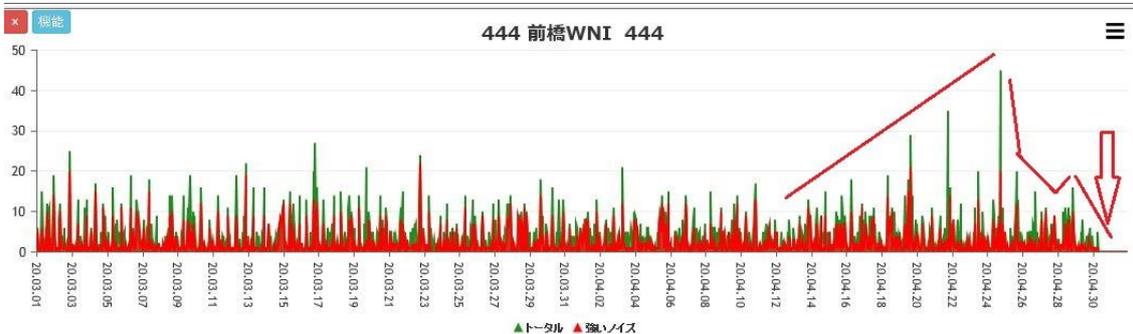


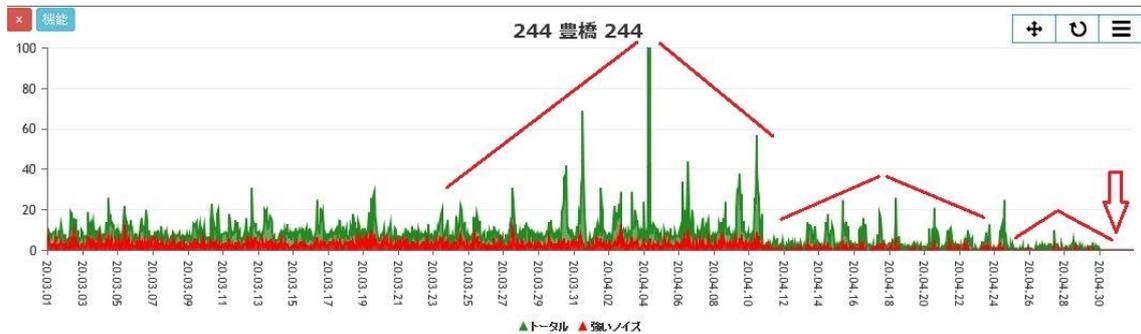
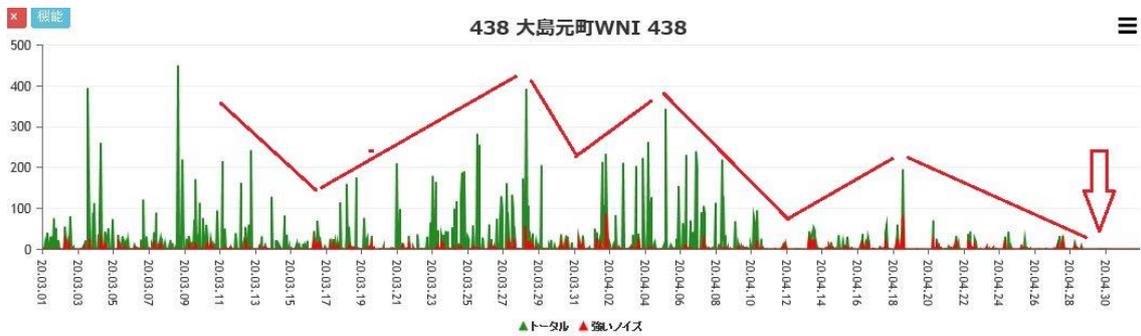
この群発が収まって平穏になるか、あるいは大きな地震の前兆であったか?について周囲のデータを見ると、安曇野、裾野、甲府、福井、佐久、日光、練馬などに半年以上つづく大きなデータがあり いずれも一斉に収束にむかっている。



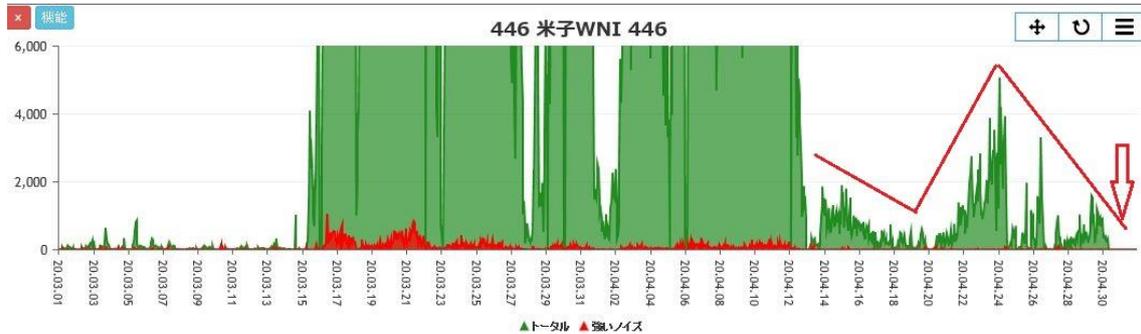


実際にほぼ収束してきたデータは次の通りである。

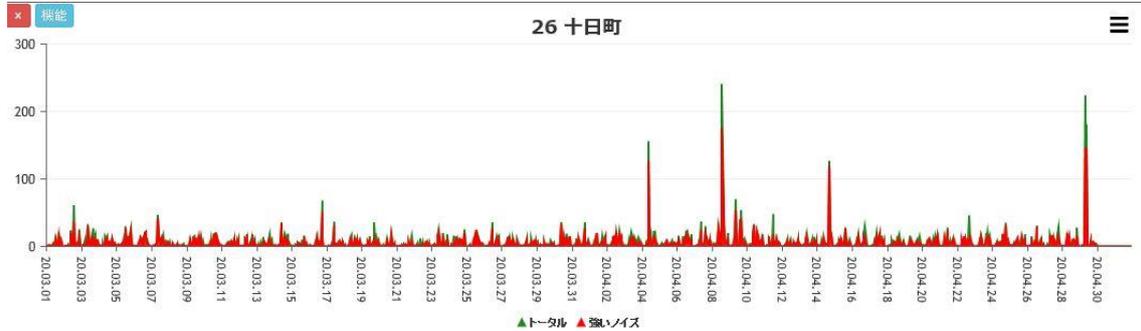
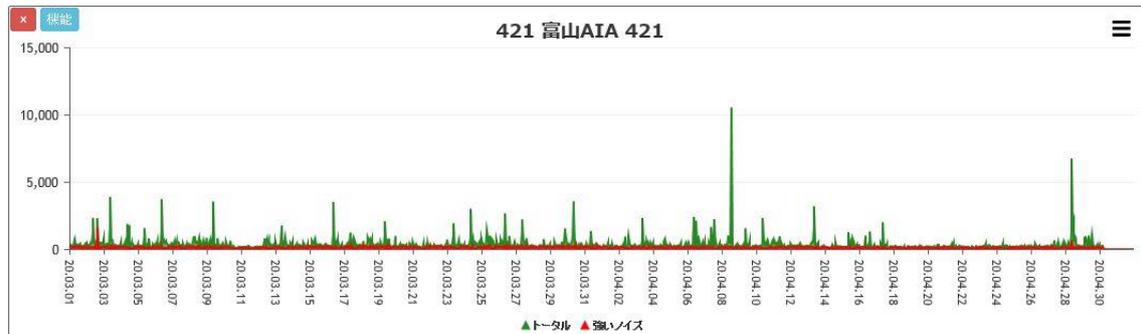


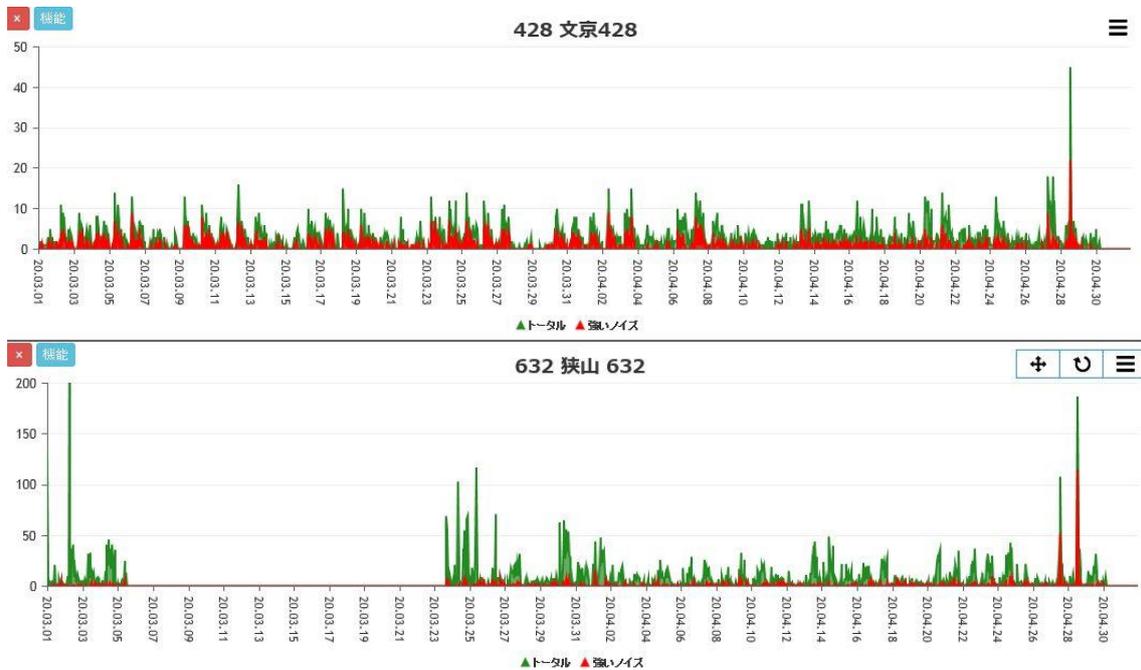


少し遠いが 米子も同期した収束がみられる。



また、富山、十日町、狭山、文京に同期した1本立ちが見られる





位置関係



200430 考察：

4月22日からつづく長野県中部の群発地震は 途中 M5.5 を最大として
4月30日現在、ほぼ収まりつつある。

しかし安曇野を中心にした周囲の観測点、裾野、甲府、福井、佐久、日光、練馬などの
約半年間のデータを見ると、これらの観測点のデータが一斉に収束傾向にある。

また富山、十日町、狭山、文京には同期した1本立ちがみられる。

さらに世田谷、センター、甲府、白馬、前橋、大島、豊橋などの数か所のデータはきれい

な収束傾向になっている。

これらの収束が 長野県中部の群発のあとの本震の前兆だとすると 注意が必要である。
現時点（4月30日）での予想は以下の通り。

震源：長野県中部

地震の規模：M6 クラス

発震予想日：4月30日（本日）より3日程度

参考：

なお群発地震のあとに大きな本震がくる事例はいくつかあるが 2009年8月の箱根の群発地震が収まったあと数日で東海沖 M6.9 と駿河湾 M6.6 が来た例がある

